



「三島村と出会えてよかった！」

～しおかぜ留学生は三島村でたくさんのことを学んでいます～

しおかぜ留学生が留学して思ったこと、学んだことなどを地元の新聞「南日本新聞」の投稿欄にたくさん投稿してくれていますので紹介します（学年は掲載当時です）。

留学を考えている「あなた」「保護者の皆さん」、ぜひ参考にしてください！

[2025年度]

【掲載内容】

[題 名]	[掲 載 日]	[出身都道府県]
1 初めてがたくさん	2025年 5月17日	鹿児島県
2 魅力届いたかな	2025年 11月 3日	千葉県
3 あしたよなあ	2025年 11月 19日	千葉県

初めてがたくさん

三島竹島学園 8年生

僕は、4月から竹島に留学をしています。

初めはとても緊張しましたが、周りの人のサポートもあり、楽しく過ごせています。竹島に来て初めて思ったことは「名前のとおり、島にはほぼ竹しかない」ということです。

島は竹で覆われており、普通の木が珍しいくらいです。こんな景色を見たのは初めてでした。

竹島には、二つのガジュマルが結び付いた「縁結びのガジュマル」と言われている木があります。垂れているつたを触りながら願い事をすると、願いがかなうと言われています。

学校では、授業や昼休みにみんなでジャンベをたたきます。ジャンベとは、ヤギの皮で作った太鼓で打楽器のことです。

みんなが教えてくれたおかげで3曲のうち1曲を覚えることができました。

僕は竹島のような自然豊かなところに来ることができてとてもうれしいです。中学2年生として年下をまとめていきたいです。



(2025年5月17日 掲載)

魅力届いたかな

三島片泊学園 9 年生

10 月 7 日に、三島村の 3 島を巡る観光イベント「ワンデージオクルーズ」がありました。

私たちは観光客の方々に片泊のことを知ってもらうために、島をテーマにクイズを作り、授業で準備を進めました。

最初は意見がまとまらず苦戦しましたが、先生の助言で、片泊にいる固有の虫やジャンベ、地域の特徴を題材にすることに決めました。

最初は楽しんでもらいたいあまり、面白さが先行して片泊の魅力を伝えられないクイズになっていました。そこで片泊の良さを伝えつつ、楽しんでもらえるように工夫を凝らしました。

本番の日は波が高く、船が片泊に来ることができませんでした。しかし動画で発表することになりました。緊張しながらも、片泊の魅力を伝えようと一生懸命発表しました。少しでも伝わっているといいなと思います。

今回の活動を通して、ただ面白ければよいのではなく、聞く人の立場に立って伝え方を工夫することの大切さを学びました。

(2025 年 11 月 3 日 掲載)



あしたよなあ

三島大里学園 6 年生

教育実習の先生が来ました。保健室の先生になるための勉強をするためです。

授業を見たり、給食を一緒に食べたりしていろいろな思い出ができました。昼休みには一緒に鬼ごっこをして、とても楽しかったです。

3 週間はあっという間でした。今日はもう見送り式です。船がだんだん見えてくるとさびしくなってきました。エールを送り、船と岸壁を結ぶ紙テープを見ると泣きそうになりました。

私たちが「あしたよなあ」と言うと先生も返してくれました。「あしたよなあ」とは私の住んでいる大里で、また会おうという意味です。思い出を残しておくために紙テープのあまった芯は大事にとっています。

家に帰ってお別れ式の時にもらった手紙を読むと泣いてしまいました。教育実習の先生も頑張っていると思うので、私も学校で勉強を頑張ります。

(2025 年 11 月 19 日 掲載)

